

104-152

問題文

アドレナリン受容体遮断薬に関する記述のうち、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. フェントラミンは、血管平滑筋のアドレナリン α_1 受容体を遮断することで血圧を低下させる。
2. ブナゾシンは、毛様体上皮のアドレナリン β_2 受容体を遮断することで眼房水の産生を抑制する。
3. アロチノロールは、気管支平滑筋のアドレナリン α 、 β 受容体を遮断することで気管支平滑筋を拡張させる。
4. ビソプロロールは、心臓のアドレナリン β_1 受容体を遮断することで心拍数を減少させる。
5. ナドロールは、心臓のアドレナリン β_1 受容体遮断作用及び内因性交感神経刺激作用により心筋収縮力を低下させる。

解答

1, 4

解説

選択肢 1 は妥当な記述です。

選択肢 2 ですが

ブナゾシンは、アドレナリン α_1 受容体選択的遮断薬です。 β_2 受容体ではありません。よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが

アロチノロールは α 、 β 遮断薬です。 β 遮断 なので、気管支平滑筋を「収縮」させます。拡張ではありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 は妥当な記述です。

選択肢 5 ですが

β 遮断による作用と、内因性交感神経刺激作用は逆の作用です。 β 遮断は、心筋収縮力低下方向の作用です。内因性交感神経刺激作用は、心筋収縮力上昇方向の作用です。

「 β_1 受容体遮断作用 『及び』 内因性交感神経刺激作用」により「心筋収縮力を低下」させる、という記述は明らかに誤りです。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1, 4 です。

類題

参考)